

コムテックスのキャリアリンク簡易版

導入費支援10月試行

電話発信で就業履歴蓄積

建設業振興基金は、コムテックス（富山県高岡市）が提供する入退場管理システム「キャリアリンク」のうち、建設キャリアアップシステム（CCUS）の就業履歴蓄積に特化した簡易版の導入費用支援を10月から試行する。カードリーダー未設置の現場でも電話発信によって技能者が就業履歴を蓄積できるシステムを安価で提供し、住宅・リフォーム、軌道工事、舗装工事など、就業履歴蓄積環境を構築しにくいとされる小規模現場を主なターゲットとしてCCUSの登録・利用を促す。2026年3月までの期間限定となる。

小規模現場にCCUS普及

電話発信や顔認証によって技能者の入退場情報を登録し、そのデータを活用して元請け企業が施工管理の効率化・省人化を図れるキャリアリンクの簡易版として、コムテックスが「CCUSかんたんスタートキャンペーン」を10月にスタートする。同月から元請け企業の申し込みを受け付ける。

簡易版は、コムテックスがシステム利用者の元請け企業に対して現場単位で専用の電話番号を付与し、現場内に掲示されたその番号に技能者が

建設業振興基金の支援を受け、初期費用と月額出課金は無料、年額の基本料金は1セット（入場現場を特定するための電話番号設定）当たり1万5000円を実現した。年額基本料金の1万5000円から導入でき、通常版に比べて年額の最低導入費用は15万7000円低い。元請け企業が建設業振興基金に支払うCCUS登録料や現場利用料などは別途必要となる。

建設業振興基金が事務局を担当する建設キャリアアップシステム運営協議会は、CCUSの23年度就業履歴数目標に22年度目標比約6割増の6000万件を設定した。大幅に引き上げた目標の達成に向け、キャリアリンクの簡易版提供などを通じ、普及が進んでいない小規模現場のCCUS登録と利用促進を強化する。

